

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年3月18日 (2010.3.18)

【公開番号】特開2009-164721(P2009-164721A)
 【公開日】平成21年7月23日 (2009.7.23)
 【年通号数】公開・登録公報2009-029
 【出願番号】特願2007-339612(P2007-339612)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/21 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/21

H 0 4 N 1/00 C

G 0 6 T 1/00 2 0 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月2日 (2010.2.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原稿の画像を読み取る読取部と、原稿に係る識別情報が記載された記録媒体から画像を読み取る第 2 読取部と、原稿画像を処理するための制御部とを備え、制御部は、読取部および第 2 読取部を動作させ、読み取った原稿画像のファイルを保存するとき、記録媒体の画像から得られた識別情報に基づいてファイル名を付与するとともに、識別情報に基づいてファイルの保存先を決めることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

第 2 読取部が複数の記録媒体の画像を読み取ったとき、制御部は、複数の原稿画像のファイルを作成し、ファイル毎に各記録媒体の識別情報に応じたファイル名を付けることを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 3】

第 2 読取部が複数の記録媒体の画像を読み取ったとき、制御部は、複数の原稿画像のファイルを作成し、ファイル毎に各記録媒体の識別情報に応じた保存先にファイルを保存することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 4】

保存先は、装置内の記憶部あるいは装置外の記憶部とされたことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 5】

制御部は、原稿画像に固有の情報をファイル名に含めることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 6】

ファイル名は操作部から修正可能なことを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 7】

制御部は、識別情報に基づいて、保存している原稿画像のファイルを検索することを特徴

とする請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 8】

制御部は、OCR 処理により記録媒体の画像から識別情報を取得することを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 9】

読取部および第 2 読取部は、同時に読み取り動作を行うことを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 10】

原稿に係る識別情報が記載された記録媒体から画像を読み取る読取部と、読み取られた画像を処理するための制御部とを備え、読取部が複数の記録媒体の画像を読み取ったとき、制御部は、原稿画像のファイルの保存に際し、複数の原稿画像のファイルを作成し、ファイル毎に各記録媒体の識別情報に基づいてファイル名を付与するとともに、識別情報に応じた保存先にファイルを保存することを特徴とする画像処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明によると、読み取った原稿画像の内容を推測できるファイル名を付けて、保存することができるので、ファイル名のリストを見るだけで目的のファイルを見つけ出すことが可能となる。また、識別情報に基づいて保存先を決めることにより、関連するファイルを集積することができ、ファイルの整理、管理が行いやすくなる。例えば、会社毎にファイルすることにより、必要なときに原稿画像の内容を確認しやすくなる。